

令和4年度

2学期学校評価(職員)

【評価:とてもよい4 よい3 もう少し2 改善を要す1 3.3以上 2.7以下 】

観点	評価項目		自己評価			○成果 ●課題	改善策(自己評価2.8未満)		
	内容		1学期	2学期	2学期総合				
I 信頼される開かれた学校教育の推進	学校教育目標	1 学校教育目標の達成にむけて、PDCAサイクルに沿って共通理解・実践がなされている。	2.9	2.8	2.8	○成果 ●課題 ●挨拶をしても返さない児童もいる。児童総会で話し合って作成した挨拶カードを繰り返し使用することで定着は図れないか。	◇3学期も挨拶カードを配布し、各担任で指導を徹底する。発達段階に応じたカードを工夫する。 ◇学級通信などで、挨拶の取組や児童の様子を保護者にも知らせ、協力を依頼する。		
		2 一校一改善「相手の心に届くあいさつ(自分から相手の目を見て)」の実践がなされている。	2.3	2.7					
	家庭・地域連携	3 学級PTA、PTA専門部活動及び学校保健委員会、家庭教育学級等、保護者と協力・連携が図られている。	3.1	3.2	3.5				
		4 学校支援ボランティアの活用や地域との連携を通じた地域の特性を生かした教育活動がなされている。	3.4	3.7					
	各種団体・関係機関連携	5 幼保小、小小、小中連携やSC、巡回相談員等との関係機関との連携が図られている。	3	3.2	3.2				
		6 校内研修や各種研修会、自主学習等を通して、教職員としての資質向上に努めている。	3.2	3.2					
	教職員の資質向上	7 学校全体として1アクション(ICTによる校務の効率化)、各自の1トライ(実践事項)により業務改善がなされている。	2.9	2.6	3			●昨年度のデータ等の引継ぎがうまくなされていない部分があった。 ○計画的に機を捉えて服務に関する研修を行って自己啓発に努めた。	◇データを係・担当フォルダを整理し、データを確実に保存して引継に支障が無いようにする。提出物は、必要なものはファイリングする。
		8 常に教育公務員であることを自覚して信頼される行動を心掛けている。(飲酒運転の禁止・交通安全・情報管理・金品管理等)	3.6	3.4					
II 確かな学力の定着	9 「前之浜スタイル」によるわかる授業づくりを実践している。(「前之浜スタイル」による学び、効果的なICT活用)	3	3	2.9	○ICTの研修を通して効果的な活用の在り方を探り、指導に取り入れることができた。 ○タブレットを使った学習に子供たちは意欲的に取り組んだ。タブレットを活用した授業がどの学級にも浸透してきている。 ●学習への集中力や家庭学習への取組の個人差が大きい。	◇家庭での見届けや声掛けがしやすいように、PTAの場も活用して宿題の内容や量を確認する(パターン化させる)。			
	10 基礎的・基本的事項の確実な定着を図っている。(単元テスト80%以上)(めあてとまとめの板書、小テスト、個別指導・補充指導)	3	2.8						
	11 各学年に応じた情報活用能力の育成がなされている。(ICT機器活用、プログラミング教育、情報モラル教育)	3	3						
	12 家庭と連携した個に応じた家庭学習の充実が図られている。(10分×学年+20分、内容の充実、読書習慣の定着)	3	2.7						
III 豊かな心の育成	13 全職員による生徒指導態勢をとり、早期発見・早期対応に取り組んでいる。(心の教育推進委員会等)	3.1	2.9	2.8	○情報を共有し、協力して生徒指導にあたることができた。 ●生活のきまりについて、内容によって全体指導・学級指導・個別指導が必要である。 ○朝読書の時間が落ち着ける時間になっている。	◇共通実践してくこと(あいさつ 靴箱の整理整頓後始末)についてポスターなども活用して児童と確認し、全職員で見守る体制を確立する。			
	14 一事徹底事項の指導と見届けがなされている。(挨拶、思いやりのある言動、「前之浜小の子供の一日」の徹底)	2.8	2.3						
	15 保護者・子供と計画的・意図的な教育相談がなされている。	3	2.9						
	16 道徳科を中心とした道徳性の育成がなされている。(道徳科授業の充実、各教科・活動(緑化活動、ボランティア活動等)との関連)	3	2.8						
	17 読書活動の充実が図られている。(読書環境や行事の工夫、読書目標冊数の達成)	3.1	3.2						
	18 学級活動、係・委員会活動、縦割り活動、学校行事等において子供の個性やよさを引き出す場の設定がなされている。	3	2.8						
IV 気力・体力の向上	19 教科体育等を通して体力・運動能力の向上がはかられている。(「一校一運動」なわとび、「ちょトレ運動」)	2.7	2.4	2.7	●「一校一改善」「ちょトレ運動」にあまり取り組めなかった。 ●メディアに関する約束が守られておらず、生活のリズムや言葉の使い方、コミュニケーションの取り方に影響を受けているように感じる。 ○感染症対策、安全対策はできている。	◇縄跳びカードを配布し、全校で縄跳び運動に取り組ませる。みんなで遊ぶ日を活用して、長縄運動に取り組ませる。 ◇3学期の元気アップ週間での取組結果をまとめ、保護者との連携を図る。 ◇児童保健委員会で、当月の保健目標の反省と次月目標の確認をする。 ◇月に一回週報に全学年共通の文章を載せ、治療を促す。定期的に生活リズムや歯の大切さを指導する。			
	20 月目標や健康診断結果をもとに、基本的健康習慣の定着がなされている。(早寝・早起き・朝ご飯、う歯治療率100%等)	2.6	2.5						
	21 防災教育、避難訓練、安全指導等を通して危険予知能力や危険回避能力の育成がなされている。	2.7	2.8						
	22 学校施設・設備の点検・対応や感染症対策等、安心して安全な教育環境づくりに努めている。	2.8	2.9						